

おしごとインタビュー

～浜通り企業業界研究会参加企業編～

Kokage Kitchen (コカゲキッチン)

Facebook

<https://www.facebook.com/KokageKitchen>

Instagram

https://www.instagram.com/kokage_kitchen/

Q1. 仕事内容を教えてください。

A. Kokage Kitchenという事業では、そば粉のワッフルをメインの商品として、川内村のそば粉や田村市の二ホンミツバチのハチミツ、卵などの特産品などの二ホンミツバチのハチミツ、キッチンカーでの販売を使った地域産品を開発し、キッチンカーでの販売を行っています。外の人に知ってもらおうということを行っています。外の人に知ってもらおうというのですが、実際にキッチンカーを使って行っているのですが、実際に知ってもらった人に地域内に来くなるような働きかけをしようということでも地域の中で「つながりマルシェ」というマルシェを月に一回行っています。そこで地元の方に来店してもらっており、その企画・運営もやっています。自分が外をたくさん周って素敵な場所がたくさんあることを知ってもらい、中で地元の人とたくさん交流してもらって地域を知ってもらおうという事業を行っています。

Q4. 学生へのメッセージやアドバイス、しておくことなどを教えてください。

A. してよかったのは、いろいろな世界に飛び込んでいったことです。20か国くらい一人でバックパックスの旅をしていろいろな人や文化に触れてみたので、自分がいかに狭い世界で人生を決めていたのかということに気づかされました。「どの仕事につくか」よりも「どんな生き方をしたいか」というベースがいろいろな人と触れることで見つけられました。あとは、面白い人は福島の中にもたくさんいて、震災後に地域産業を復興させようとしている人たちが福島にはいるので、そういう人にぜひ会いに行っていきたいなと思います。

Q2. 今後の展望について教えてください。

A. まず「地域の魅力を詰め込んで全国を周る」という想いでキッチンカーを作りました。今コロナウイルスの影響でなかなか県外に行けませんが、一度は全国周りながら福島のものを持っているいろいろな人に会いに行きたいです。そして並行して進めているのが、ワッフルをカフェなどで扱ってもらえるように加工場を作っています。そのため、ワッフルを加工して卸すような事業も進めています。それに加え、加工場で地域産品を使ってドライブルーツティーなどのお茶などを作っていくということも現在進めています。最初は地域の魅力を知ってもらったためのきっかけづくりということから始めていましたが、地元の方はもちろん、外から来てくれた方々が魅力的なものを作れるかということを進めています。地域的なものにして地域を知ってもらったきっかけにするというのが第一で考えています。

Q3. 学生に求めるものを教えてください。

A. 「この会社でこんなことをしたい」というような地域に呈する熱量ややりたいことを持っている人とはぜひ一緒にやりたいです。

感想

地域のために、地域の素敵なものを知ってもらうために現在も新たなことに挑戦し続けているのだと感じました。「地域」というまとまりはもちろんのこと、その中で「個人」に対しても焦点を当て活動しているということがとても印象に残っており、10を知るためには1を知ることが必要があるのだと思います。インタビューをしていて、とても地域に対する愛情を感じ、ぜひ大学生の間に一緒に何か活動させていただきたいと強く思いました。

発行
キャリア
支援課

(左) インタビュー
Kokage Kitchen
大島様



★インタビュー★
食農学類2年 遠藤 瑠乃
経済経営学類2年 菅野 結夏
(自主学修プログラム南相馬PR班)